

第5次栗島浦村総合計画(案)へのパブリックコメントと村の考え方

令和7年3月
栗島浦村総務課企画政策係

1 概要

(1) 公表した案

第5次栗島浦村総合計画（案）

(2) 募集期間

令和7年1月15日（水） から 2月5日（水） まで

2 結果

(1) 提出数 3 通 （個人3通）

(2) 意見数 30 件 （無効な意見 0 件）

3 提出意見の内容と村の考え方

別紙の通り

村の考え方（反映区分）は次の通り

区 分	村の考え方	件 数
A	意見を踏まえ、計画（案）に反映したもの	7 件
B	意見の趣旨が既に計画（案）に反映されているもの	3 件
C	今後の検討のために参考とするもの	5 件
D	その他（質問に対する回答など）	15 件

※ 意見に補足追記または推測修正等した場合、大かっこ [] にて記している。

※ 該当箇所欄などに記載している頁番号は、編集後の頁番号である。

※ 該当箇所が不明な意見については、内容に応じた頁番号としている。

4 章 各施策の概要

目標 1 安心して暮らし続けられる島の堅持

番号	頁	ご意見	回答	区分																											
1	47	施策 1-2 学校教育内容の充実 指標「教育大綱の改定」の目標値が「随時改定」となっているが、これは評価しにくいと思われる。 <table><tr><th colspan="4">目標指数</th></tr><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="2">1-2 学校教 育の内 容の充 実</td><td>児童生徒数</td><td>30 (人)</td><td>30 (人)</td></tr><tr><td>教育大綱の 改定</td><td>随時改定</td><td>平成 27 年度版</td></tr></table>	目標指数				施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	1-2 学校教 育の内 容の充 実	児童生徒数	30 (人)	30 (人)	教育大綱の 改定	随時改定	平成 27 年度版	教育大綱は教育行政の基本となるもので す。教育を取り巻く最新の情勢を把握して取 り込む事が常であり、指標としては曖昧と考 えられるので削除します。 <table><tr><th colspan="4">目標指数</th></tr><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td>1-2 学校教 育の内 容の充 実</td><td>児童生徒数</td><td>30 (人)</td><td>30 (人)</td></tr></table>	目標指数				施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	1-2 学校教 育の内 容の充 実	児童生徒数	30 (人)	30 (人)	A
目標指数																															
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																												
1-2 学校教 育の内 容の充 実	児童生徒数	30 (人)	30 (人)																												
	教育大綱の 改定	随時改定	平成 27 年度版																												
目標指数																															
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																												
1-2 学校教 育の内 容の充 実	児童生徒数	30 (人)	30 (人)																												
2		むしろ上記(本文)に「①LT の採用」や 「学級数や教職員配置の維持」が明記さ れているので、数値と して評価しやすい「教職員数〇名」とし たほうがよいと考える。	教職員数は児童生徒数によって変動するた め、指標としては適していません。	D																											
3		また、「しおかぜ留学生との連動」を明 記するならば、人口増を図る方向で考え ると児童生徒数は 30 人ではなくもっと 上↑ 35～40 名 位[くらい]を掲げたら どうか。	児童生徒数は人口動態（出生、転出入）と しおかぜ留学事業の受入数によります。留学 事業における受入キャパシティは、現状では 18 名が限界です。留学生受入人数につい ては、施策「しおかぜ留学生事業の推進」に 示しているとおり運営体制の強化を検討し ており、その結果によります。児童生徒数 の確保は重要ととらえており、関係部署と 連携して現状を維持するための目標値とし て児童生徒数を設定しています。	B																											
4	48	施策 1-3 中学校卒業後の修学支援 [指標] U ターン者の修学資金の 返済支援 目標値は具体的な支援額や支援上限額 などを記載する。 [指標] 本土の高校に修学した村民の子 への居住支援 支援制度についてはもっと具体的な目 標値(金額や施策)を設定する	これまでの修学支援制度（Uターンの推 進を目的とした奨学金の貸付）の拡充が本 計画の意図です。奨学金制度を継続すると ともに、対象者資格や免除要件の緩和・拡 充の実現を目標としています。詳細は制度 検討後となりますので目標値は記載しま せん。	D																											

4 章 各施策の概要

目標 1 安心して暮らし続けられる島の堅持

番号	頁	ご意見	回答	区分
5	48	施策 1-3 中学校卒業後の修学支援 本土の高校に修学した村民の子への住居支援の横並びで[目標値に]「青海寮の運営検討」と記載されていますが、村民の就学生の数の減少傾向は変わりません。維持運営の厳しさは理解できます。そのうえ、建物の老朽化もかなり進んでいると聞いている。今後の方向として、寮の廃止も視野に入れての検討とも受け取れます。 【意見】そのことを踏まえての意見です。今後、栗島汽船は収入の増加を見込んで、現状の運行ダイヤを見直し、栗島始発から岩船始発・岩船停泊 観光客が利用しやすい方向に移行すると推測しています。昨年試行した結果からです。そうなった場合、島民が通院する際は、2泊3日を要することとなります。当然のこと宿泊費を含めた費用は増大することは必至と考えられます。そこで青海寮の今後の活用方法として、島民がいつでも、安心して利用できる宿泊施設を主体として運営すべきと考えます。喫緊の課題ですので、前向きに検討して頂きたい。	現状「晴海寮」は高校生寄宿舍として設置されています。令和7年度に晴海寮の在り方に関する検討委員会を設置し検討します。	C
6	49	施策 1-4 UI ターンの促進 [指標] 地域おこし協力隊員定住率 目標値の数値基準(13.9%)の理由は何か分からないので明確にしてほしい 追加項目 関係人口とのネットワークの強化として、しらせあい登録者数を目標値に入れる	本計画期間中、36 名前後の採用予定しており、5 名の定住 (1 名／年 5 名／5 年) を目標とし、定住率 13.9%を目標値としました。 関係人口とのネットワーク強化は、多方面での関係構築が必要と考えていますので、指標としては設定しません。	D
7	50	施策 1-5 生涯学習の推進 [指標] 館展示方法の検討と交流スペースの利活用 具体的な実施戦略を記載した方がよい。文化財推進委員を置く、専門職員を置くなど。また、目標値として資料館の年間利用者数も記載すべき。	これまでの活用方法の転換が本計画の意図です。 文化財調査委員会を通して、今後のあり方を検討します。また施設の規模から専門職員等の配置は計画していません。	C

4 章 各施策の概要

目標 1 安心して暮らし続けられる島の堅持

番号	頁	ご意見	回答	区分																												
8	51	施策 2-1 健康増進の推進 イキイキ体操会の開催数が現状 25 回の半分以下 12 回に減らされているのは、なぜなのか？。むしろ、R6 年度は年間 36 回の実施であり、1/3(三分の一)に減らされている。[本文] 1)に「村民同士の交流の場が重要な役割を果たす」と明記されており、R5 年度には、高令者の方が保健福祉課長に直訴した経由もある程の重要施策と考える。参加者は少ないからという理由で回数を減らすのはおかしいと思う。他の項目は、ほとんど増やしているのに、なぜ、ここだけ減らされるのか、理由が知りたい。介護予防事業で書かれていることと矛盾していると思う。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="3">2-1 健康増進の推進</td><td>イキイキ体操会開催数</td><td>12 (回)</td><td>25 (回)</td></tr><tr><td>特定健診の受診率</td><td>80.0 (%)</td><td>79.4 (%)</td></tr><tr><td>要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]</td><td>6.0 (%)</td><td>6.0 (%)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	2-1 健康増進の推進	イキイキ体操会開催数	12 (回)	25 (回)	特定健診の受診率	80.0 (%)	79.4 (%)	要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]	6.0 (%)	6.0 (%)	目標値 12 回は誤植であり、正しくは 24 回です。 事業を実施する者の人手不足により、令和 6 年度と同数の開催回数の確保が困難となったため、月 2 回開催の年間 2 4 回と数値目標を設定しました。 当該体操会は当村において数少ない介護予防事業の中でも中心的な事業であることから、2 0 2 9 年度までの目標値として「年 2 4 回以上」に変更します。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="3">2-1 健康増進の推進</td><td>イキイキ体操会開催数</td><td>24 以上 (回)</td><td>25 (回)</td></tr><tr><td>特定健診の受診率</td><td>80.0 (%)</td><td>79.4 (%)</td></tr><tr><td>要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]</td><td>6.0 (%)</td><td>6.0 (%)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	2-1 健康増進の推進	イキイキ体操会開催数	24 以上 (回)	25 (回)	特定健診の受診率	80.0 (%)	79.4 (%)	要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]	6.0 (%)	6.0 (%)	A
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																													
2-1 健康増進の推進	イキイキ体操会開催数	12 (回)	25 (回)																													
	特定健診の受診率	80.0 (%)	79.4 (%)																													
	要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]	6.0 (%)	6.0 (%)																													
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																													
2-1 健康増進の推進	イキイキ体操会開催数	24 以上 (回)	25 (回)																													
	特定健診の受診率	80.0 (%)	79.4 (%)																													
	要支援 2 以下の割合 [人数 / 65 才以上人口]	6.0 (%)	6.0 (%)																													
9	51	施策 2-1 健康増進の推進 [本文] 1)「高令者入浴支援」事業として、R6 に 65 才以上のお年よりに温泉無料券の配布があったが、利用方法に制限があったり、配布時期が 10 月と遅かったりして、十分に活用されたとは言い難い。また、釜谷の一人ぐらしの高令者は、おそらく、ほとんど利用されなかったのではないだろうか。 本当に、村民に利用されるようにするには、例えば釜谷からは送迎バス利用促進を図るなど、せめて、冬場オフシーズンだけでも、送迎サービスをするなどしたらどうか。P65[施策 3-2 観光インフラの整備と管理]の「目標指標」おと姫の湯利用者数 8,000 人↑や「長期滞在者や村民の一人でも多くの方が利用するような施策」にも関わることだと考える	ご意見にあるように配布時期や利用者の利便性を向上させる取り組みについては、引き続き検討します。	C																												

4 章 各施策の概要

目標 1 安心して暮らし続けられる島の堅持

番号	頁	ご意見	回答	区分
10 11 12	54	施策 3-1 住環境の整備・確保 [指標] 断水の発生件数 水道計画 [水道ビジョン] の策定を 目標に入れた方がよいのでは？ 追加項目 村営住宅の戸数、活性化住宅の戸数を 数値目標に入れた方がよい	下位計画である水道ビジョンは R6 に制定 されているので、追記はしません。 住環境の改善・整備は最重要項目と認識し ています。着実に施策を推し進める事が本計 画の意図です。 村営住宅の戸数は、村の財政状況や費用対 効果を考慮の上、都度決定するものであり、 目標値としては適していません。 活性化住宅の戸数は、指標「空き家の利活 用」として目標値「2（計画期間中）」を定め ています。	D C B
13	56	施策 3-2 生活交通の維持 [指標] 粟島汽船旅客数 目標旅客売上を記載した方がよい(航 路の料金が変動しているため) [指標] コミュニティバス利用者数 目標売上も記載した方がよい [指標] 乗合タクシー資料者[利用者]数 目標売上も記載した方がよい	公共交通の確保維持が本計画の意図です。 標準的な指標・目標値として利用者数とし ました。 コミュニティバスと乗合タクシーは営利 目的ではないため、目標売上は指標としては 適していません。	D
14	56	施策 3-2 生活交通の維持 [本文] 1) 粟島汽船の二隻体制の維持 を図るとともに…つづく 【意見】 粟島汽船のフェリーニューあ わしま、高速双胴船ち awaline きららの 二隻体制の維持を図る…下線の船名を 明確に記載することで、筆頭株主として 両船の堅持に対する強固な意識を明ら かにし、汽船の経営方針の最優先して定 めるように働きかけをする。 [本文] 1) 粟島汽船の二隻体制の維持 粟島汽船のフェリー、高速船の二 隻体制の維持を図ると共に、（略）	公共交通の確保維持が本計画の意図です。 船種に関わらず二隻体制を目標とするよ う、本文を「粟島汽船の二隻体制を目標とし、 (略)」に変更します。 [本文] 1) 粟島汽船の経営改善 粟島汽船の二隻体制を目標とし、（略）	A
15	57	施策 3-3 防災減災の推進 [指標] 防災訓練 実施回数ではなく、参加者数で実態の 把握をした方がよい 例：訓練参加者数 2 回で 500 人など 追加項目 消防団実団員数を指標に入れた方が よい 例：実団員数 65 人など	参加者数の把握は、達成度の判断に必要な 項目と認識はしていますが、練度の向上が本 計画の意図であるため、訓練回数の確保を重 視して指標・目標値としました。 団員の確保は重要ですが、村民の年令別人 口や減少傾向にある総人口の推移を考慮する と、団員数を指標とすることは適していません。	D

4 章 各施策の概要

目標 2 島の産業を振興する体制強化と基盤づくり

番号	頁	ご意見	回答	区分																			
16	58	施策 1-1 漁業協同組合の体制強化と協働の推進 追加項目 漁業後継者の育成について、漁業研修制度を取り入れるなら漁業研修生数を目標に入れた方がよい	制度の実現が本計画の意図であるため、目標値は設定しません。	D																			
17	61	施策 2-1 観光協会との協働によるサービスの充実 [指標] 自然体験プログラム参加者数 現状の観光協会の体制で事業の拡充が可能か不透明。体制強化も含めて目標値を修正した方がよい	自然体験プログラムの開催は体制的に可能と考えています。また「海の恵みプロジェクト」など新規企画の開始も見込まれることから、目標値の修正は必要ありません。	D																			
18		追加項目 観光イベント開催数と合わせてイベント参加者数も追記したほうがよい。	これまでの観光イベントの継続実施を目標としています。一部のイベントについては参加者規模も記載しています。その他のイベントに関しては企画時に検討します。	B																			
19		追加項目 追加項目:[本文 2)] 観光情報の発信強化[の目標指標] 観光のWebサイトアクセス数かSNSのフォロワー数を指標として追記してもよいのでは？	Web サイトアクセス数及びフォロワー数と観光客数の関連性が不明確であるため、指標としては適していません。	D																			
20	65	施策 3-2 観光インフラの整備と管理 追加項目 キャンプ場利用者数を指標に記載した方がよい。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指標</th><th>目標値 (2029 年度)</th><th>現状値 (2023 年度)</th></tr><tr><td>3-2 観光インフラの整備と管理</td><td>おと姫の湯利用者数</td><td>8,000 (人)</td><td>7,700 (人)</td></tr></table>	施策目標	指標	目標値 (2029 年度)	現状値 (2023 年度)	3-2 観光インフラの整備と管理	おと姫の湯利用者数	8,000 (人)	7,700 (人)	キャンプ場利用者数を指標に追加します。 現状値 605 人 (2023 年度) 目標値 650 人 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指標</th><th>目標値 (2029 年度)</th><th>現状値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="2">3-2 観光インフラの整備と管理</td><td>おと姫の湯利用者数</td><td>8,000 (人)</td><td>7,700 (人)</td></tr><tr><td>キャンプ場利用者数</td><td>650 (人)</td><td>605 (人)</td></tr></table>	施策目標	指標	目標値 (2029 年度)	現状値 (2023 年度)	3-2 観光インフラの整備と管理	おと姫の湯利用者数	8,000 (人)	7,700 (人)	キャンプ場利用者数	650 (人)	605 (人)	A
施策目標	指標	目標値 (2029 年度)	現状値 (2023 年度)																				
3-2 観光インフラの整備と管理	おと姫の湯利用者数	8,000 (人)	7,700 (人)																				
施策目標	指標	目標値 (2029 年度)	現状値 (2023 年度)																				
3-2 観光インフラの整備と管理	おと姫の湯利用者数	8,000 (人)	7,700 (人)																				
	キャンプ場利用者数	650 (人)	605 (人)																				

番号	頁	ご意見	回答	区分																												
21	66	施策 3-3 自然環境の整備と維持 施策 3-3 [本文] 1), 2)について 1)[森林保全]「パノラマ新道と森林作業道の保全」についても観光イベントとして島外からボランティアを募り、保全活動を推進していったらどうかと思う。そもそもパノラマ新道が開通できたのは「高尾の山の会」のメンバーさんたちのおかげだったので、再度、呼びかけるなど、島外者の協力を求め、イベント的に保全活動が実施できたらよいと思う。 2)[健全な生態系の維持] 近年、クリーンアップの実施方法が縮小され、せっかくボランティアで来島された方の満足感が低下しているのではないかと思われる。以前は釜谷のオナマチの浜と内浦の2カ所と、ゴミひろいの範囲も広く規模も大きかった。時間いっぱいにもまだひろいきれず、「あともうすこしやりたい」くらいの気持ちを残してもらった方が、参加者の満足感が得られるし、次年度へのやる気につながる。実際近年クリーンアップ作戦後になっても海岸道路沿いに多くのゴミが残っていて、見苦しいし、R7年度はぜひともゴミひろいの範囲拡張を期待する。	森林保全方法の一案として参考にします。 クリーンアップ作戦は、自然環境の整備と維持が主目的であるため、満足度の把握は想定していません。 ただし、クリーンアップ作戦は産業振興面でも恩恵があるため、ご指摘の点は検討します。	C																												
22	66	施策 3-3 自然環境の整備と維持 追加項目 観光イベントとしてエコマラソン参加者数も項目に追加した方がよい。 追加項目 生態系の維持指標として二ホンジカ推定生息頭数を項目に追加した方がよい。	自然環境の整備と維持に向けた指針を示すことが本計画の意図です。エコマラソンの主催は島外の団体であり、村は後援として関わっており、指標に参加目標数及び参加者数を用いることはできません。 健全な生態系の維持のため、全頭捕獲に向けた行動指針を示すことが本計画の意図です。下位計画である鳥獣被害防止計画に取り組み方針や捕獲頭数目標を記載しているので、指標として記載しません。	D																												
23	67	施策 3-4 島の特産品生産強化 [指標] さつま芋の生産量 他の産品と同じく加工量に統一した方がよい。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="3">3-4 島の特産品生産強化</td><td>一人娘の加工量</td><td>1,200 (kg)</td><td>450 (kg)</td></tr><tr><td>さつま芋の生産量</td><td>7,000 (kg)</td><td>350 (kg)</td></tr><tr><td>じゃが芋の加工量</td><td>500 (kg)</td><td>300 (kg)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-4 島の特産品生産強化	一人娘の加工量	1,200 (kg)	450 (kg)	さつま芋の生産量	7,000 (kg)	350 (kg)	じゃが芋の加工量	500 (kg)	300 (kg)	加工量に変更します。 現状値 380 kg 目標値 3.000 kg 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="3">3-4 島の特産品生産強化</td><td>一人娘の加工量</td><td>1,200 (kg)</td><td>450 (kg)</td></tr><tr><td>さつま芋の加工量</td><td>3,000 (kg)</td><td>380 (kg)</td></tr><tr><td>じゃが芋の加工量</td><td>500 (kg)</td><td>300 (kg)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-4 島の特産品生産強化	一人娘の加工量	1,200 (kg)	450 (kg)	さつま芋の加工量	3,000 (kg)	380 (kg)	じゃが芋の加工量	500 (kg)	300 (kg)	A
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																													
3-4 島の特産品生産強化	一人娘の加工量	1,200 (kg)	450 (kg)																													
	さつま芋の生産量	7,000 (kg)	350 (kg)																													
	じゃが芋の加工量	500 (kg)	300 (kg)																													
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																													
3-4 島の特産品生産強化	一人娘の加工量	1,200 (kg)	450 (kg)																													
	さつま芋の加工量	3,000 (kg)	380 (kg)																													
	じゃが芋の加工量	500 (kg)	300 (kg)																													

4 章 各施策の概要

目標 2 島の産業を振興する体制強化と基盤づくり

番号	頁	ご意見	回答	区分
24		施策 3-4 島の特産品生産強化 追加項目 現在は放棄地がどれぐらいあり、どれぐらい改善するかについても目標指数として記した方がよい。	下位計画の一類である「農地等の利用の最適化の推進に関する指針（粟島浦村農業委員会）」に、取り組み方針や目標値を記載していますので、指標としては記載しません。	D

4 章 各施策の概要

目標 3 新たな価値の創出・発信

番号	頁	ご意見	回答	区分
25	68	施策 1-1 しおかぜ留学事業の推進 施策 1-1 [本分] 2)[留学事業を契機とした関係人口づくり]の目標指数が「しおかぜ留学生参加数」で 18 人となっているが、これでは現状値と同じである。目標値としては、島の人口の自然増が見込めない以上、留学生を増やさなければ、児童生徒数の 30 人を下回りかねない。従って、留学生の数はもっと上↑20 人以上を掲げる必要があるのではないか？ また[本文]「保護者や卒業生による、ふるさと納税や卒業生の定期的なりピート訪問」の施策として、「 <u>二十歳の集い</u> 」への参加案内を、目標数値としての参加者数〇人と明記したほうが、評価しやすいと考える。	制度の維持・推進が本計画の意図です。 現状における受入可能人数は 18 人です。満数を維持できるよう募集・周知に努力するための目標値として 18 人としています。 「二十歳の集い」への参加案内について、年度によって対象者数が異なるため、参加者数は指標として適していません。	D
26	68	施策 1-1 しおかぜ留学事業の推進 [指標] しおかぜ留学生参加数 新たな寮の設置などを実施計画で含んでいるなら 2029 年度の目標値は 18 名からの増加を見込んでもよいのでは？ [指標] 安定した寮運営 目標値が抽象的すぎる。①寮の定員上限②相談員の設置など具体化すべき。また、法人への委託が本当に現実的なのかも合わせて検討した方がよい。	制度の維持・推進が本計画の意図です。 現状における受入可能人数(定員上限)は 18 人です。満数を維持できるよう募集・周知に努力するための指標値として 18 人としています。 委託を目標に施策を推進します。運営方針が整った後、定員数を検討します。 小中学校に全ての児童生徒を対象とした相談員の設置を検討しています。寮生に対する寮生活での相談もできるよう検討します。	D
27	69	施策 1-2 ホースパークの管理・運営体制の強化と利活用 [指標] 管理運営方法の見直し どの部分をどれぐらい委託するか(部分委託なのか完全委託なのか)も合わせて記述した方がよい。実現可能性も含めて考慮すべき。 [指標] ホースパーク来場者数 来場者数だけでは利活用の推進の指標として不十分のため、売上げも合わせて記述した方がよい。	管理運営方法の見直しについては、2028 年度の目標は完全委託です。そこに行き着くまでのプロセスは委託を受けてくれる業者との話し合いの中で、部分委託からはじめ完全委託へ移行と考えます。 売上げに関する乗馬体験等参加者数ではなく、牧場への来場の推進を目的として来場者数を目標指数としました。	D

番号	頁	ご意見	回答	区分																						
28	71	施策 2-1 [3-1] IoT の活用による主要施策の推進 [指標] 業務の GX 化 「業務の GX 化」ではあまりにも抽象的すぎるため、もっと細分化して記述した方がよい。産業分野、総務分野、保健福祉分野、観光分野でそれぞれ 1 つずつ施策を GX 化する、また、GX 化は詳細についても現時点での目標は記述した方がよい。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td>3-1 IoT の活用による主要施策の推進</td><td>業務の GX 化</td><td>3 (件)</td><td>--- (件)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-1 IoT の活用による主要施策の推進	業務の GX 化	3 (件)	--- (件)	指標「GX」は誤植であり、正しくは「DX」です。 業務の DX 化を積極的に推進する方針を示したのが本計画の意図です。業務の DX 化を進めるにあたり、DX 化の要望度、重要度、費用対効等を多面的に検討し、導入させることが重要であり、分野を示さず目標値を設定しました。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td>3-1 IoT の活用による主要施策の推進</td><td>業務の DX 化</td><td>3 (件)</td><td>--- (件)</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-1 IoT の活用による主要施策の推進	業務の DX 化	3 (件)	--- (件)	A						
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																							
3-1 IoT の活用による主要施策の推進	業務の GX 化	3 (件)	--- (件)																							
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																							
3-1 IoT の活用による主要施策の推進	業務の DX 化	3 (件)	--- (件)																							
29	72	施策 2-2 [3-2] 高速度情報通信基盤の整備 [指標] 光回線の活用 指標がそもそも抽象的すぎる。何をどう活用するために法人委託するのか(目的)、それを活用してどこまで整備するのか(見通し)が記されていない。そもそも何をするかを決めたうえで委託しないと丸投げになってしまうので危険。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="2">3-2 高速度情報通信基盤の整備</td><td>光回線の活用</td><td>法人委託</td><td>直営</td></tr><tr><td>5 G エリアの拡大</td><td>島内居住地域</td><td>－</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-2 高速度情報通信基盤の整備	光回線の活用	法人委託	直営	5 G エリアの拡大	島内居住地域	－	光回線の通信事業者との契約はすでに大方完了しているので、今後は通信事業者から提供されるサービスの拡充が望まれるところです。したがって目標値を、法人委託からサービスの拡充に変更します。 目標指数 <table><tr><th>施策目標</th><th>指 標</th><th>目 標 値 (2029 年度)</th><th>現 状 値 (2023 年度)</th></tr><tr><td rowspan="2">3-2 高速度情報通信基盤の整備</td><td>光回線の活用</td><td>サービスの拡充</td><td>－</td></tr><tr><td>5 G エリアの拡大</td><td>島内居住地域</td><td>－</td></tr></table>	施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)	3-2 高速度情報通信基盤の整備	光回線の活用	サービスの拡充	－	5 G エリアの拡大	島内居住地域	－	A
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																							
3-2 高速度情報通信基盤の整備	光回線の活用	法人委託	直営																							
	5 G エリアの拡大	島内居住地域	－																							
施策目標	指 標	目 標 値 (2029 年度)	現 状 値 (2023 年度)																							
3-2 高速度情報通信基盤の整備	光回線の活用	サービスの拡充	－																							
	5 G エリアの拡大	島内居住地域	－																							

4 章 各施策の概要

目標 4 計画的・効率的で健全な行財政運営

番号	頁	ご意見	回答	区分
30	73	施策 1-1 行政運営の効率性の向上 追加項目 実施計画で岩船分室についても記載していることから、分室での取組可能事務数(分室での事務がどれだけできるのか)は目標値として設置しておいたほうがよい。また、当初から計画している分室に出勤する本土側の正職員数も目標値として記述した方がよい。	現状においても試行段階であるため、指標・目標値の設定はしません。	D